

多目的国際ターミナルの完成により コンテナ貨物の積み降ろしが効率的になり物流コスト削減

ふ し き と や ま

file10

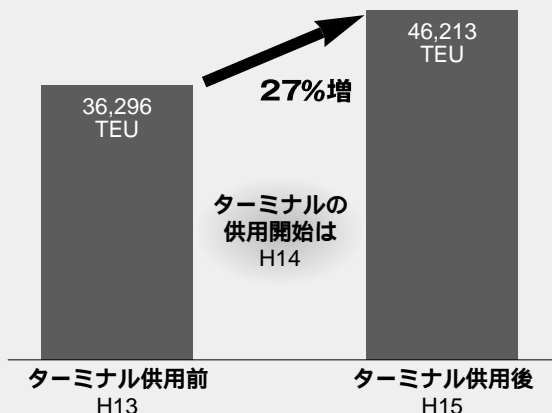
伏木富山港

対象施設 新湊地区多目的国際ターミナル 岸壁(暫定-12m)
供用 平成14年

多目的国際ターミナルの整備により、荷役の効率化が進み、コンテナ貨物利用が増加している。その他、三菱レイヨン(株)富山事業所は、製品の輸出(アクリル樹脂成形材利用:車のテールランプ材料、アセテート・トウ:タバコのフィルターなど)を神戸港から伏木富山港に切り替えたことで、陸上輸送コスト削減により平成14、15年の2年間で2億円余りの経費節減を達成した。



●伏木富山港における外貿コンテナ貨物取扱量



第2部
個別港湾事例

